




ソーシャル・インパクト・ボンドを活用した官民連携介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」

取組開始時期	2021年7月	取組の カテゴリ	⑨ 高齢者福祉・介護	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
1. 団体名	企画：株式会社ドリームインキュベータ 実行：合同会社 Next Rise ソーシャル インパクト推進機構		2. 連携先 の団体	◎豊田市、多数の市内外企業・NPO法人・団体 等				
3. 取組 目的	豊田市における、高齢者の要介護リスク低減による健康寿命延伸、またそのことに伴う、 生活満足度、幸福度の向上			4. 関連する ゴール				

5. 取組経緯

株式会社ドリームインキュベータと豊田市は、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の活用に係る調査・研究に関する覚書を締結し、多分野における社会課題解決の検討を進めてきた。その中で、新型コロナウイルス感染症に伴う高齢者の外出機会減少により、介護リスクが高まることが喫緊の課題であるとの認識から介護予防事業を進めるに至った。また、豊田市においては、新型コロナウイルス感染症対策に人的リソースが必要となる中、要介護リスク増加という課題に対し、SIBスキームの下、民間活力を活用する形で大規模に展開することとなった。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

SIBを用いた民間リソース活用によりコロナ禍に対応した社会参加サービスを提供し、市内高齢者の要介護リスク低減を目指す。また、幅広いサービスを展開し、皆様に継続的に楽しんで参加頂くことで、幸福度向上も図る。



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

地域の高齢者の要介護リスク低減、幸福度向上のために、市内外の民間企業や団体、及び行政が協力し、社会参加促進サービスを提供

ステークホルダーとの連携

豊田市、多数の民間企業・団体、アカデミアがそれぞれのリソースを活用し、本事業に取り組むことができるよう、成果報酬型委託事業の一つであるSIBスキームを活用

モデル性・波及性

成果報酬型委託契約であるSIBを活用しており、社会参加をテーマとした介護予防事業において事業が成立し得るKPI・報酬設計、評価の仕組み設計しており、さまざまな地域で同様の取組みを展開可能

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

（取組み詳細）

20以上の民間企業、団体が創意工夫し、コロナウィルス感染症に対応した、三密回避、オンラインの様々な社会参加プログラムを、市内高齢者の皆様に提供することで、健康寿命を延伸。スポーツ・健康系のサービスだけでなく、継続的に楽しみながら参加いただけるよう、趣味・エンタメ、就労支援等様々なサービスを展開

参加された皆様の健康寿命の延伸



プログラムへの継続的な参加

コロナ禍を踏まえた、三密回避・オンラインの社会参加促進プログラムの提供

スポーツ・健康

対面での運動教室 オンライン配信



趣味

着物教室 大人のピアノ教室



エンタメ

ドローン教室 ボードゲーム倶楽部



コミュニケーションその他

LINEの活用 就労支援



（目指す成果）

豊田市在住高齢者の皆様の“社会参加機会”、“社会参加活動量”の増加を図ることで、将来の要介護リスク・介護費の低減を実現する。

また、人や社会との繋がりを通じて、生きがいや楽しみを今以上に感じていただき、幸福度や満足度の高い生活を送っていただけることを目指す。

- ・要介護リスク・介護費：10億円規模の介護費削減
- ・参加者規模：年間5,000人（延べ）

（スキーム）

新たな介護予防事業への取組みにあたって、自治体だけでなく、民間のリソースを活用するため、成果報酬型委託事業の一つであるソーシャル・インパクト・ボンドの仕組みを導入。豊田市からNext Riseソーシャルインパクト推進機構（DI子会社）が本事業の運営・推進の委託を受け、多数の民間企業・団体との連携や事業全体のKPI管理等を行う。また、事業資金の提供にあたっては、日本生命保険相互会社、株式会社日本政策投資銀行、株式会社DIソーシャルインパクトキャピタル等が出資をするファンドが事業資金・成果報酬の原資を供給する

